

新型コロナワクチン接種計画を変更しています

新型コロナワクチンの国からの配分数が少なかったため、市が予定していた9月の接種計画をやむを得ず変更しています。

- 集団接種** 9月に予定していた集団接種は一部のみの実施となります。【10,000人分⇒3,600人分】
- 個別接種** 8月20日時点では、予約の受け付けを一時停止している医療機関があります。9月からは順次予約を再開しますので、市庁で確認してください。個別接種では、9月・10月で10,000人以上のワクチンを確保しています。



▲市庁
(個別接種)

変異株(デルタ株)の感染が発生しています

国立感染症研究所の発表によると、首都圏では約95%が感染力の強い変異株(デルタ株)に置き換わっているとされています。

変異株は以前は感染しなかったような場面でも感染が発生しており、従来株と比べて潜伏期間が長い場合が多く、感染が拡大しやすい傾向にあります。

三原市を含む東部保健所管内でも変異株の感染が16件(8/13時点)確認されています。また市内では、10~40歳代の感染者が多く、友人や親族間の交流を通じて感染が広がるケースや、感染した家族が家庭内にウイルスを持ち込むことで子どもへ感染するケースも報告されており、今後は変異株が拡大する可能性があり、更なる注意が必要です。

ワクチンを接種しましょう

皆さんを新型コロナウイルスから守るのはワクチンが有効です。一方でワクチン接種は強制されるものではありません。接種後に、発熱などの副反応が数日発生する事例なども報告されていますが、ワクチンを打たずに感染した場合には、発症時に重症化や死亡する可能性が高く、回復後にも味覚・嗅覚異常や強い倦怠感などの症状が数カ月残る後遺症も報告されています。それぞれのリスクを理解し、行動することが必要です。

市は、希望する対象者の皆さんが接種できるように取り組みますので、副反応や接種に関する間違っただ情報に惑わされず、しっかりと判断し、接種機会があれば打つようにしましょう。

新型コロナワクチン接種 Q & A

Q1. 接種会場でのワクチン接種の副反応はどんな症状が多いですか？

A1. 市の集団接種会場では約20件(約56,000回接種のうち)接種後に動悸、頭重感、手のしびれなどの症状の報告がありました。ほとんどの人が会場で経過観察後、帰宅されています。

Q3. 夜中に副反応でしんどくなったらどうすればいいですか？

A3. 24時間対応している「広島県新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター」(☎082・513・2847)に相談してください。

Q2. ワクチン接種の副反応についてどんな準備ができますか？

A2. ワクチン接種後の発熱や痛みに対しては、市販の解熱鎮痛薬(アセトアミノフェンや非ステロイド性抗炎症薬(イブプロフェンやロキソプロフェンなど))で対応することができますが、主治医、薬剤師に相談が必要な場合もあります。

※詳しくは厚生労働省庁で確認してください。



▲厚生労働省庁

Q4. ワクチン接種すればもう感染しませんか？

A4. ワクチンは高い発症予防効果が確認されていますが、その効果は100%ではありません。ワクチンを接種した後も、マスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします。

※詳しくは厚生労働省庁で確認してください。



▲厚生労働省庁

接種に関する悩みや専門的な相談窓口

広島県新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター
(☎082・513・2847) 【24時間対応】

集団接種の予約のキャンセルや接種券の再発行など一般的な相談窓口

市新型コロナウイルスワクチンコールセンター(保健福祉課内)
(☎0848・67・6019) 【平日9時~17時】

**9月12日までは三原市「まん延防止等重点措置に伴う集中対策」実施中
自分の命や大切な人の命を守るため、対策内容へのご協力をお願いします**


支援制度を紹介します

制度名	内容	問い合わせ先
新型コロナ対策 離職者等 就業支援事業(県)	<p>対象 新型コロナウイルスの影響などで仕事・転職先を探している人</p> <p>支援内容 ・専門カウンセラーによる現在の状況や希望する職種などのヒアリング ・求人企業とのマッチング ・面接、就職決定後のフォローアップ</p> <p>窓口設置期限 令和4年3月31日(木)まで</p>	<p>働きたい人全力応援 ステーションふくやま「はたすて」 (☎084・991・0036)</p> <p>▲専用サイト</p>
月次支援金(国)	<p>対象 緊急事態措置などに伴う「飲食店の休業・時短営業」または「外出自粛」などの影響を受けている中小企業・個人事業主</p> <p>※感染症拡大防止協力支援金(県)を受給した事業者は対象外。</p> <p>1月当たりの支給上限額 中小企業 = 20万円 個人事業主 = 10万円</p> <p>申請期限 7月分 = 9月30日(木) 8月分 = 10月31日(日)</p>	<p>要件 緊急事態措置などが実施された月のうち、措置の影響を受けて月間売り上げが対前年同月比もしくは対前々年同月比で50%以上減少している</p> <p>▲専用サイト</p> <p>月次支援金相談窓口 (☎0120・211・240)</p>
頑張る中小事業者 月次支援金(県)	<p>要件 ・緊急事態措置や県の集中対策などが実施された月のうち、措置の影響により月間売り上げが対前年同月比もしくは対前々年同月比で30%以上減少している</p> <p>※その他に条件があります。詳しくは県庁で確認してください。</p> <p>▲県庁</p>	<p>頑張る中小事業者 月次支援金センター (☎082・248・6853)</p>
感染症拡大防止協力支援金[令和3年度第4期](県)	<p>対象 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための早期集中対策やまん延防止等重点措置により、集中対策重点区域内で営業時間の短縮や休業を実施した飲食店</p> <p>1店舗当たりの1日の支給額 8月4日～19日 = 2万円～19.5万円 8月20日～9月12日 = 2.5万円～20万円</p> <p>※事業規模や協力内容、売上額により変わります。</p> <p>要件 ・要請期間の全ての日で営業時間短縮や休業の要請に協力している ・屋内に常設の飲食スペースがある ・「広島積極ガード店」かつ「新型コロナウイルス感染症対策取組宣言店」である</p> <p>※その他にも条件があります。詳しくは県庁で確認してください。</p> <p>申請期間 9月13日(月)～10月29日(金)(予定)</p> <p>▲県庁</p>	<p>県協力支援金センター (☎082・248・6851)</p>

発熱など風邪の症状がある場合はすぐに相談を

- ①迷わずに「かかりつけ医」など身近な医療機関へ電話で相談し、指示に従いましょう。小児は小児科に相談しましょう。
 - ②かかりつけ医がないなど、相談先に迷う場合は県の「積極ガードダイヤル」【24時間対応】(☎082・513・2567)に電話で相談しましょう。診察・検査ができる医療機関が紹介されます。
- ※電話での相談が難しい人は、家族など代理の人に電話で相談してもらいましょう。

総合メニュー
防災メニュー
三原の魅力




三原市公式LINEで新型コロナウイルス感染症に関する情報、新型コロナワクチンの情報を配信しています

下の「総合メニュー」の中のボタンからも

- ①新型コロナウイルス情報
- ②ワクチン接種のお知らせ
- ③ワクチン接種予約ページ
- ④市内の感染情報

が確認できます



▲三原市公式LINEについてはこちら